

諮問理由【学校教育】

平成19年1月12日に諮問した「これからの中学校のあり方について」は、平成20年1月23日付で、児童生徒数が年々減少する中で、学校が活力を失うことなく十分に教育効果の上がる学校規模を維持するため、「しかるべき時期に3中学校を1校に統合するのが望ましい」という答申をいただきました。

一方、小学校の状況として、大山地区に大山小学校（児童数85人）、大山小学校赤松分校（児童数18人）、大山西小学校（児童数215人）があり、いずれの学校とも小規模であるとともに、校舎等の老朽化が進み、耐震補強工事や改修工事を検討する時期を迎えており、学校の適正な規模や配置等がどうあるべきか問われています。

中山地区、名和地区においてはすでに小学校が1校に統合され、平成18年度に名和小学校新築、平成19年度に中山小学校耐震・大規模改修工事を行い、安全で良好な学習環境となっています。

未来を担う子どもたちのために、学習・生活の場としてふさわしい小学校のあり方を検討し、学校関係者及び地域住民の方々とともに今後の学校づくりを進めていきたいと考え、以下の事項を審議会に諮問します。

諮問事項

- 1 大山地区の小学校のあり方について